

## 若い働き手を業界へ DVDを制作し学校に寄贈 生活空間造り夢ある仕事をPR

壁装研究会は若い壁装施工者を業界に招き入れるためのDVD「題名・インテリアデコレーター」の作成に取り組んでいたが、このほど完成し理事会で最終的な確認も行なった。

同会は、このDVDを全国の中学・高校等に寄贈して、就活希望者に見せてもらえるよう活動を行うという。国交省は、後継者不足が建設業にとって危機的状態であると危惧し、「法令遵守ガイドライン」を始め、「社会保険未加入対策」「適切な賃金水準確保の要請」等々、若い働き手導入のための様々な施策・指導を行なっているが、同会のこの動きはその先端を行く事業として大変注目される。

### 壁張りの仕事と魅力

DVDの導入は、「壁張りの仕事があると知っていましたか」のテーマで、卒業間近の若者が、先輩に「就活」の相談をする映像から始まる。

先輩が、知人の仕事「壁張り」での活躍ぶりを教える形で、壁張りの仕事と魅力を話す。そこで、壁紙には多彩な種類があり好みの空間を演出できる。壁・天井は人の目が自然に行くところで、住む人が心地よく文化的で心豊かに暮らせる空間をもたらす、大切な役割を持った仕事であることなどの趣旨が解説されている。

続いて映像は、建築家やデザイナーとの打ち合わせ、施工計画の作成、実際の壁張りの作業状況等が映写される。

### 専門家としての生涯

見習いから入って一人前になると、給料で働く道と、請負制で働く道などがあり、一人前の人の収入は、同じ年のサラリーマンより多い場合が多い。保険や年金の制度もあり安心して働けるが、何より、一度手に職を付ければ定年はなく、生涯専門家として働けるなどの特徴が説明されている。

専門家としての「技能士・国家資格」は、働きながら取得できる。また、業界にはそれを支援する制度もある。

なおかつ、本人の意欲次第で、「壁張り」だけでなく、「床」や「カーテン」などの技能資格もとって、内装仕上げの多能工になることもできる。実際に、業界では、そういう多能工は珍しくない。なども説明される。

### 実際の職人のことば

一人前になったばかりの若い人、多能工の資格をもつ先輩、さらには、女性の技能士などが登場し、「壁張りの仕事は、夢のある仕事だ」、「海外の仕事もこなしている」、「この仕事に就いて良かった」など、それぞれの人の思いをコメントする映像が映され、若い人をこの業界に誘うDVDが完成している。

### ダウンロードも可能

このDVDは、上映時間15分のもので、同会は、学校はもとより業界でも要望ある方には差し上げる考えだとしている。さらに、同会のホームページにも掲載、欲しい人は自由にダウンロードして「見る」「使う」ができるようにしている。

壁紙新聞(第416号)より引用